|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| （関連する教科書単元）**国語**（光村）5年**説得力のある構成を考え、すいせんするスピーチをしよう**。 | | | | 2019.12ダラス | |
|  |  | |  | |  |
| 5年 | 単元名 | | **すいせんします　（話す、聞く）** | | ４時間  時間 |
| 単元の目標 | | １）話題に関する情報を集め、目的に応じて、明確に伝わるように、話を構成することができる。  ２）場に応じた適切な言葉遣いで、話し言葉と書き言葉の違いに気づくことができる。→（話す、聞く）  ３）相手（聞き手）を納得させるようスピーチを工夫することができる。（文や口調の工夫）→（話す） | | | | |
| 日本語の目標 | | ぼく・わたしは●●をすいせんします。　理由は〜　だからです。  （資料を見せながら）この資料を見てください。これは●●です。✖ ✖だと思いませんか。 | | | | |
| 学習課題 | | 相手の共感を得られるための文章の工夫や資料の添付をし、すいせんの理由を明確にできる。 | | | | |
| 主な学習活動 | | １）「すいせんする」意味について知り、考える。２）話題を選び、適切な資料を探す。  ３）相手を意識し、スピーチの内容や構成を考え、構成を書く。  ４）声の強弱、スピード、間の取り方に気をつけて構成メモに沿ってスピーチをする。 | | | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動計画 | | | |
| 時限 | 内容 | 活動 | ポイント |
| １ | 学習課題をつかむ  （１月１１日） | 単元目標「ここに旅行に行ってみてコンテスト」でNo1になろう！  ＜本時のめあて＞　説得力のあるスピーチの構成や、表現を考えよう  １）めあてを知る、学習計画を立てる（P190)こ  ２）ディズニーランドの文例を使用し、実際に教員のスピーチを聞いて、紹介（どんな場所）の仕方や優れたところを学級で話し合う。すいせんカードを模造紙に書き、板書したものに答えを書き出していく。（ブレインストーミング）  ３）教科書P191,を読み、スピーチの構成について考える。  →**すいせん理由を明確に**していると、説得力があることを振り返る。（P191) | ディズニーランドを例に挙げブレインストーミングをすることによって、**どんな風に説明すると相手に対象物の良さが伝わるか**、もしくは伝わりにくい原因を考える。  発表の時にコンテスト形式でみんなのお勧めの場所から、「一番行ってみたい場所」No1を決定することを伝える。 |
| 家庭学習課題 | すいせんカードに記入をする、資料を見つける | 学級頼りなどで家庭学習の内容を補足説明しておく |
| 2 | 自分のすいせんする  事柄について考え、その理由を明確にする。 | ＜本時のめあて＞すいせんしたい場所（旅行にいくのにオススメのスポット）に合う、説得力のあるスピーチを考えよう。  １）１校時の学習の振り返りを振り返りシートを使って行う。  ２）すいせんカードをもとに、すいせんする理由をはっきりさせ、整理する。  ３）振り返りシートを使って学習を振り返る。 | 初め、中、終わりの構成でそれぞれの「内容」に気をつける。  日本語力に応じて、異なったスピーチメモを用意する。 |
| 家庭学習課題 |  |  |
| 3 | スピーチメモに基づいたスピーチの工夫を考える。 | ＜本時のめあて＞説得力のあるスピーチの工夫について考え、スピーチの練習をしよう。  １）デジタル教科書のビデオを見ながら効果的なスピーチの工夫について話し合う。（話す速さ、声の強弱による強調、資料の使い方、間の取り方など）  ２）「説得力のある」スピーチを意識して練習する。  ３）ペアになり発表を聞き合ったり互いに意見を交換したりする。  ４）振り返りシートを使って学習を振り返る。 | 「説得力のあるスピーチ」の仕方（発表の仕方）を映像で考えさせたりイメージさせたりする。  日本語力に応じて発表の際のスピーチメモを利用させる。  発表練習はペアで行う。（発表に対する不安感の低減。） |
| 家庭学習課題 | 「説得力のあるスピーチ」にするために、「スピーチの工夫」を意識して練習を行う。 |  |
| 4 | １）スピーチをする。  ２）友達のスピーチを聞く。  ３）学習を振り返る | ＜本時のめあて＞「説得力のあるスピーチ」を意識して、発表したり友だちの発表を聞いたりしよう。  １）スピーチの工夫について確認する。  ２）１人ずつ発表する。  聞くひとは「オーディエンスカード 」に発表者のすいせんについて評価を書き留める。（三段階評価）  ３）友達のスピーチについて印象に残ったことを伝え合う。  ４）振り返りシートを使って自己評価をする。 | 発表する側、聞く側の留意事項を振り返る。  全員の発表が終わったらオーディエンスカードを基に気いたことを伝え合う。  オーディエンスカード は児童にとって、悩む必要がなく、評価できるものを作る。 |